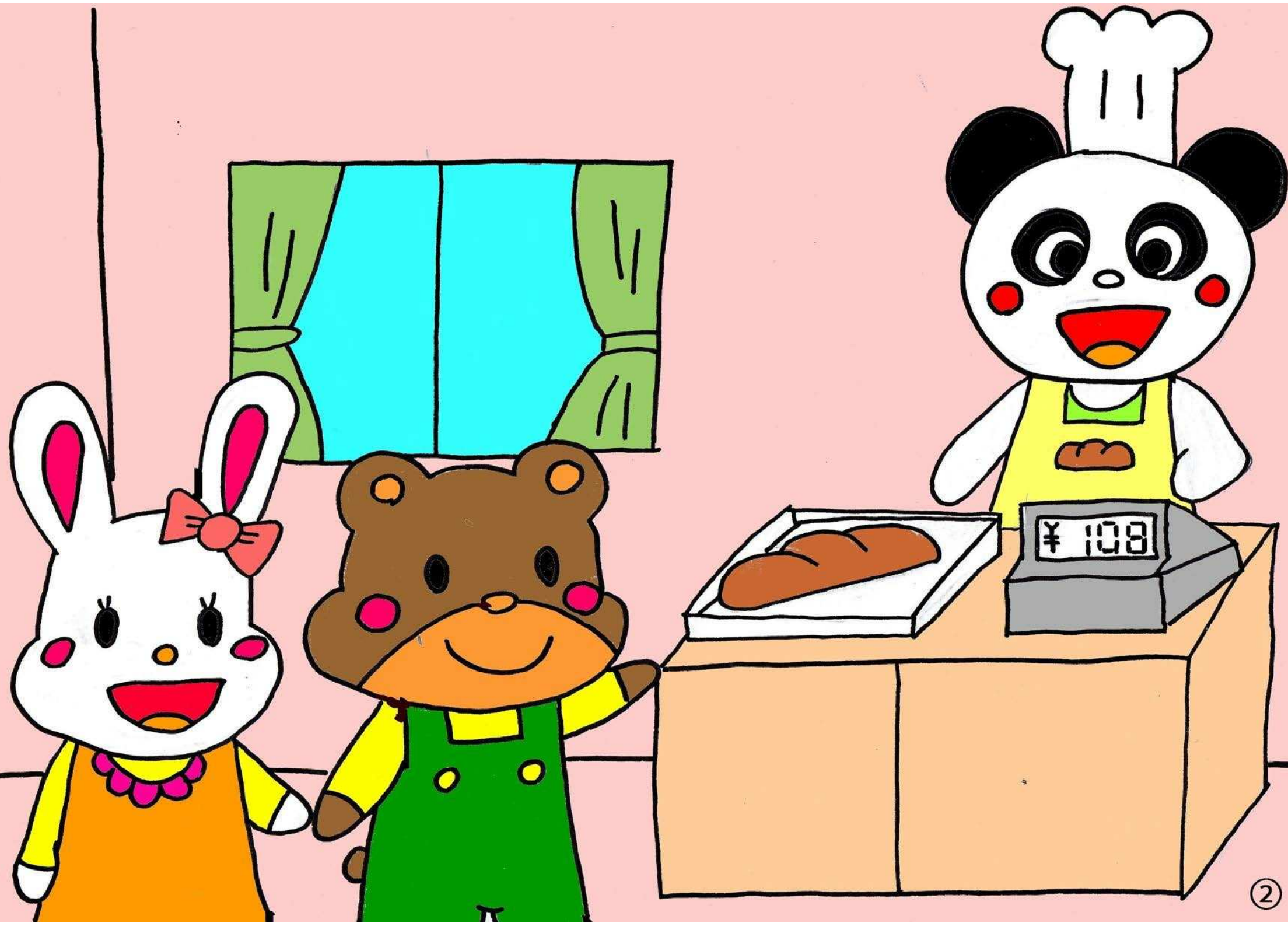
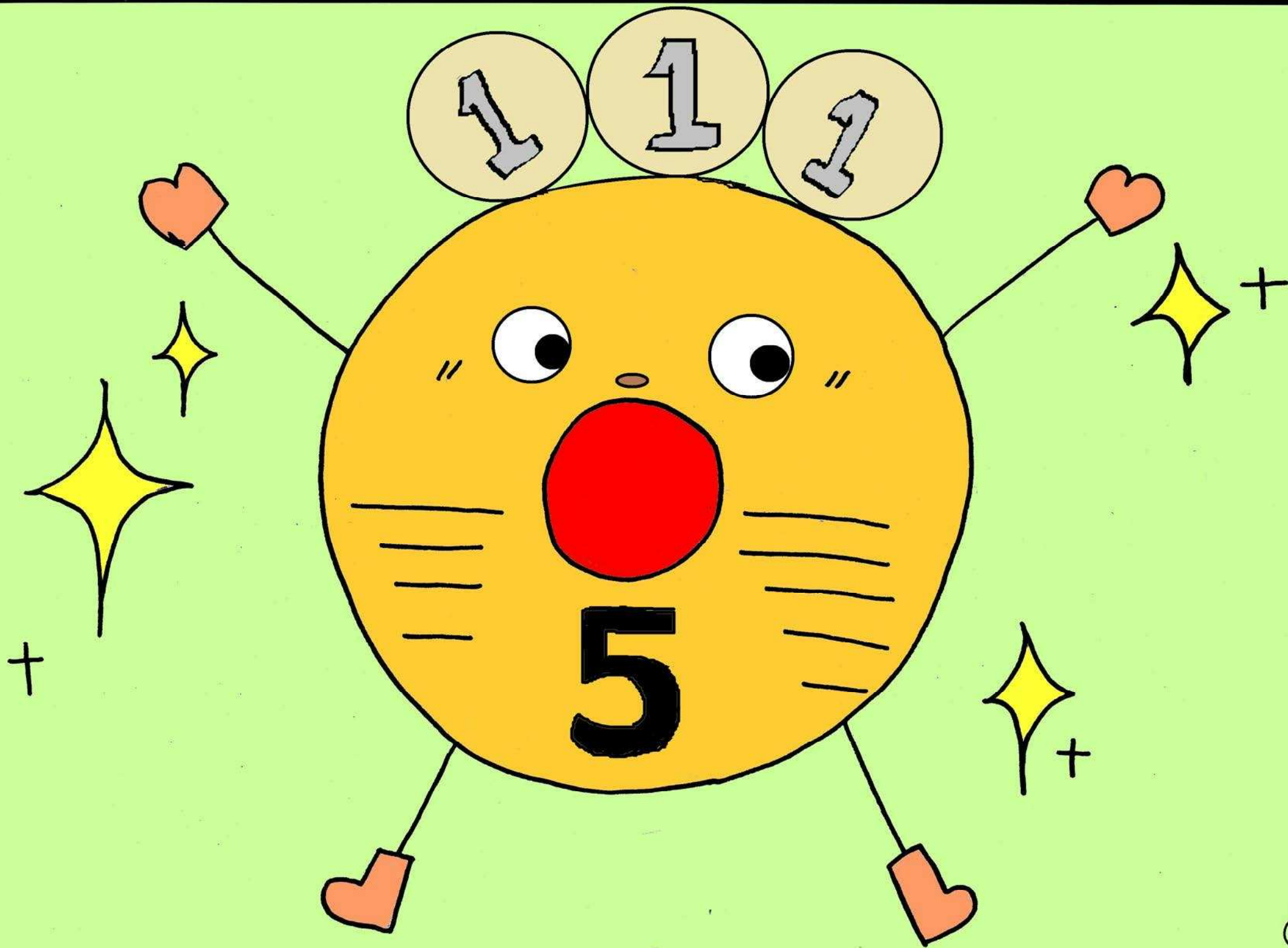


あきくんともみじちゃんの
ぜいきんのたび

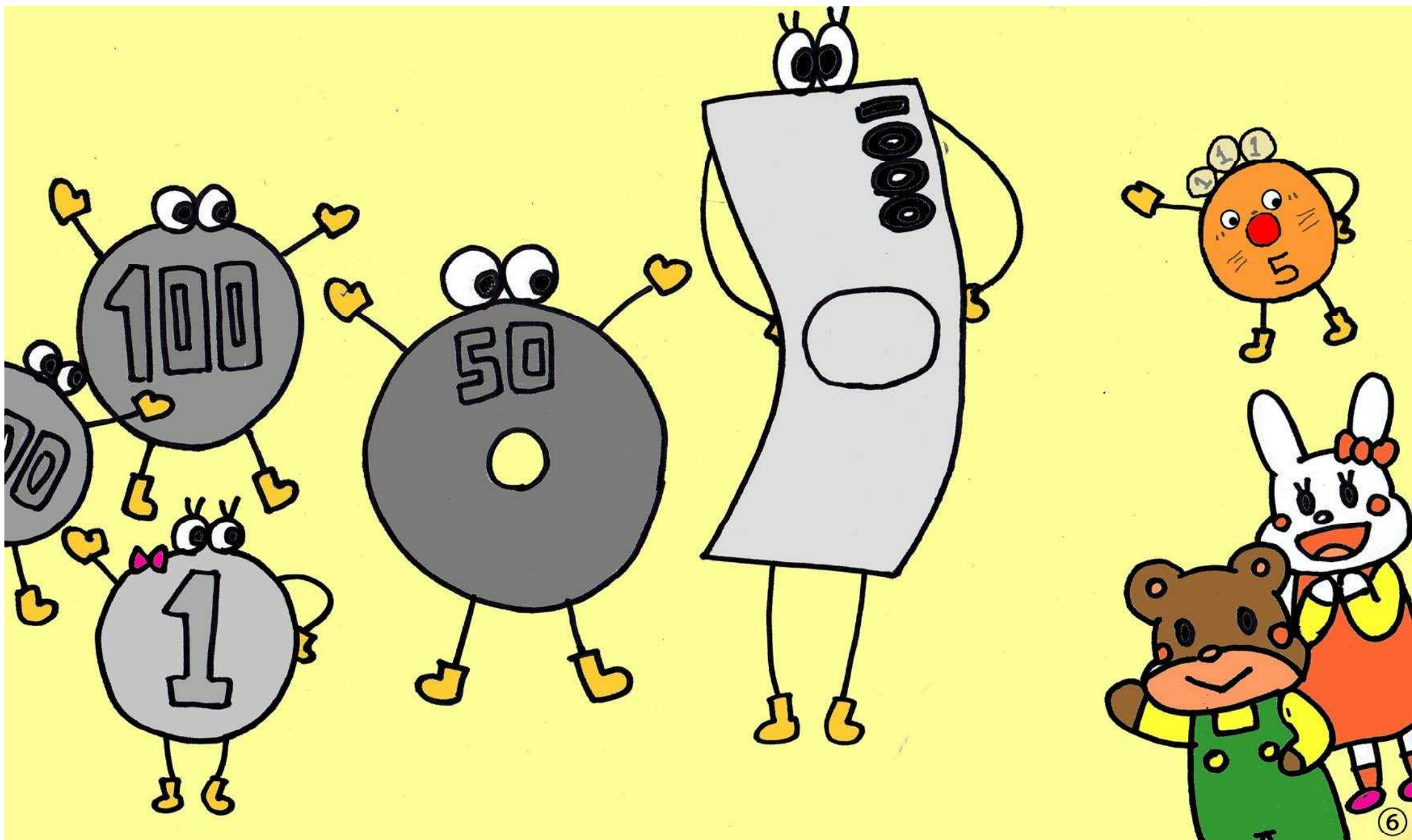


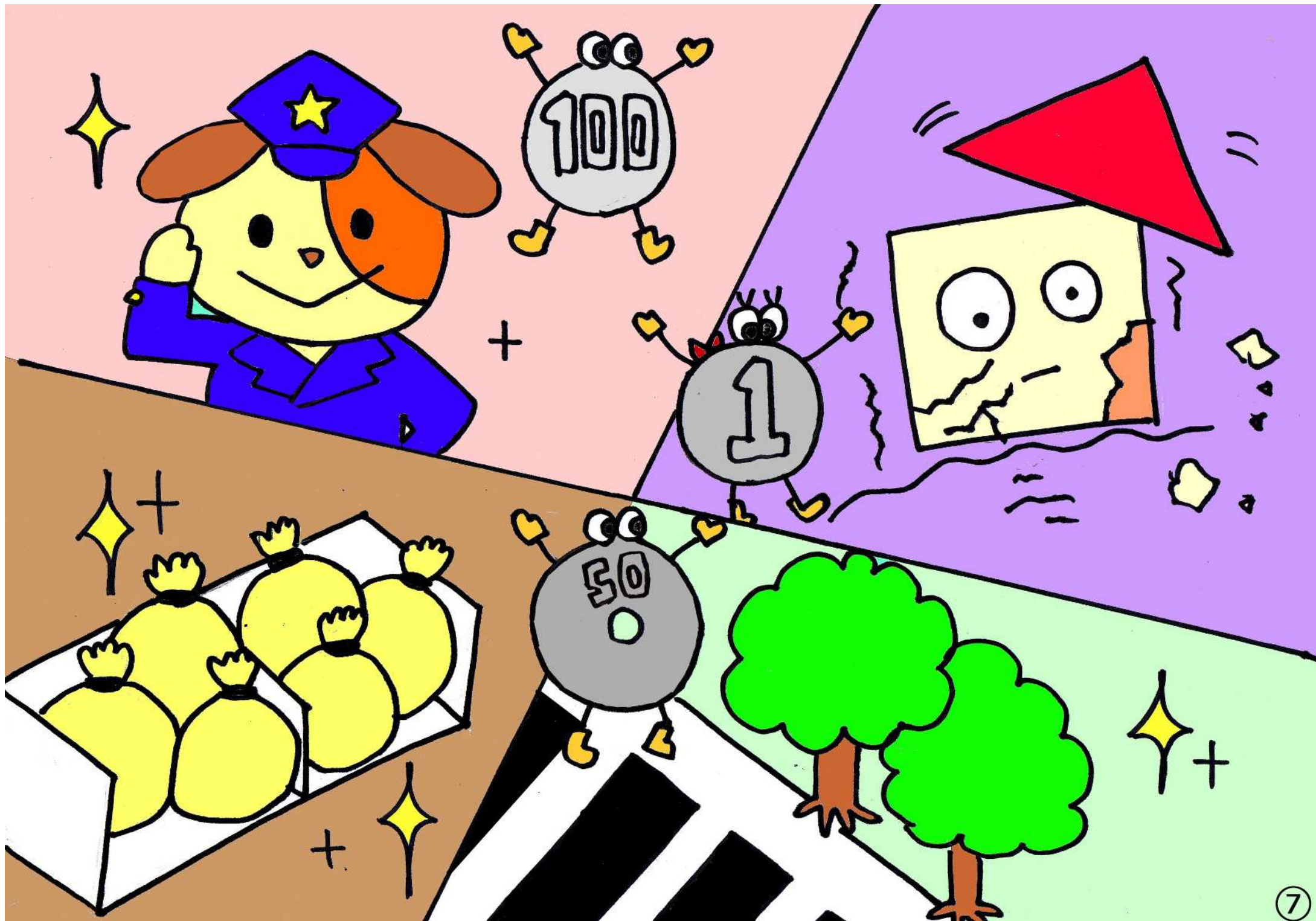


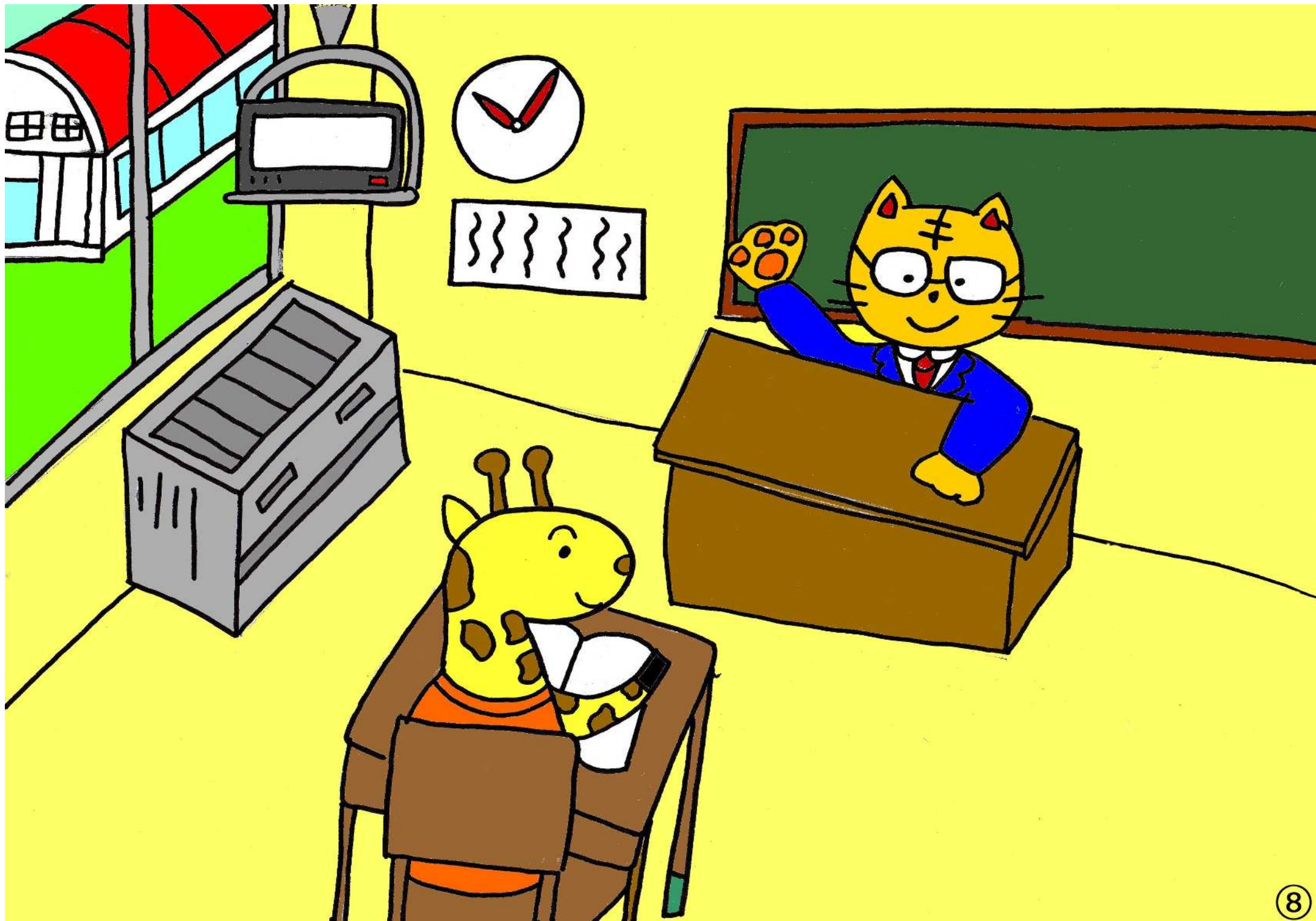














紙芝居「あきくんともみじちゃんのぜいきんのたび」

作成：安田女子大学児童教育学科 西川ひろ子ゼミ

[1]

ナレーター : あるところに、うさぎのもみじとくまのあきがいました。これから、パン屋さんにパンを買いに行くところです。てくてく歩いていくと、パンダのパン屋さんに着きました。

[2]

もみじ : 「これくださーい！」

パンダ : 「108 円になります。」

あき : 「そうだよ、100 円のパンを買ったら、消費税があるから、108 円払うんだよね。」

もみじ : 「じゃあ、この消費税ってパン屋さんがもらえるの？」

パンダ : 「ちがうよ、ちがうよ！」

もみじ : 「じゃあ、この8円はどこに行くの？」

パンダ : 「それはね…」

[3]

はちえんくん : 「タラララッタラ～！はちえんくん～！」

あきともみじ : 「わあああああー！なに、これー！？」

はちえんくん : 「はじめまして、ぼく、はちえんくん！今から、ぼくと一緒に旅に行こうよ！」

[4]

あき : 「楽しそうだから、行ってみようよ！」

もみじ : 「行ってみようよ！」

はちえんくん : 「さっき、あきくんともみじちゃんが払った消費税は、お店の人が全部まとめて税務署に払うんだよ。」

[5]

あき : 「税務署ってなあに？」

はちえんくん : 「税金を集めたり、税金のことについて相談に乗ってくれるところだよ！」

もみじ : 「へーそんなところがあるんだ！それでそれで！」

はちえんくん : 「税務署に集まったお金は、次に日本銀行っていうところに行くよ。」

あき : 「え！？日本銀行？」

はちえんくん : 「日本銀行っていうのはね、集まった税金を大切に保管しているところだよ。」

もみじ : 「へーそうなんだ！」

はちえんくん : 「それじゃあ、日本銀行の中に入ってみよう！」

[6]

もみじ : 「わあー！お金がいっぱいー！」

はちえんくん : 「あそこにいるのはみんなぼくの仲間なんだ！みんなが少しずつ税金を払っているから、こんなにたくさんのお金が集まったんだよ。」

あき : 「じゃあ、お父さんが払った税金も、お母さんが払った税金も、おじいちゃんやおばあちゃんが払った税金もぜーんぶここに来るんだね。」

はちえんくん : 「そうだよ。みんなが払った税金は大切にここに集められるんだよ。」

もみじ : 「じゃあ、ここに集まったお金たちは、次はどこに行くの？」

[7]

お金A : 「ぼくは、警察に行くよ！みんなの安全のために使われるよ！」

お金B : 「わたしは、地震や火事などみんなが困っているときに使われるよ！」

お金C : 「他にも、道路を直したり、街をきれいにするよ！」

[8]

はちえんくん : 「みんなのまわりでは、どんなところに使われているかな？」

あき : 「ん〜、どこだろう！？」

もみじ : 「私が通っている学校は？」

はちえんくん : 「正解！学校の中には、黒板や教科書、チョーク、机、椅子、教卓、運動場、体育館、テレビ、時計、暖房器具、などに使われているよ！」

もみじ : 「えーーーーー！そんなにたくさん！？知らなかった！」

あき : 「ぼくも知らなかったよー！税金ってすごいね！」

[9]

(紙芝居を引きながら、「ヒューン！」と言う。)

はちえんくん : 「あきくん、もみじちゃん、ぼくとの旅はどうだった？」

あき : 「ぼくたちが払っている消費税がどうなっているのかがわかったよ！税金があるから、みんなが幸せに過ごせるんだね。」

もみじ : 「自分一人ぐらい払わなくてもいい！なんてことはないんだね！」

はちえんくん : 「そうだよ！税金ってとっても大切なんだよ！あきくんともみじちゃんがぼくとの旅で見たように、税金はいろんなところに旅をしながら、みんなの生活の中で使われているんだよ！」

あき : 「今日はたくさん税金のことを勉強できたな〜。」

もみじ : 「おうちに帰ったら、お父さんとお母さんに今日のこと教えてあげようっと！」